

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 東山本川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor. No. 2	調査位置	広島県広島市安佐南区山本町	北緯	34° 27' 05.1180"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年12月21日～ 令和3年12月21日	東経	132° 26' 32.4158"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	T P 183.96m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	度	0°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
		使用機種	試錐機 東邦地下工機 D-0B型	コ	ア
		エンジン	NFD12(ヤンマー)	ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深	試料採取番号	採取方法	室内試験	削孔月日	
											深度 - N 値図		N	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量							深
1	182.91	1.05	粘土混じり砂	粘土混じり砂	褐				上部に草根を混入する。砂分は細砂を主体とする。GL-0.9m付近に厚さ10cmで有機質土を挟む。	12/21 1.85	1.15	2	2	2	6	300						
2			粘土混じり砂	粘土混じり砂	rd1	}			砂分は中砂～粗砂が主体。φ2mm～5mmの礫を10～20%混入する。		2.15	1	1	2	4	300						
3									GL-2.95m付近にφ50mmの垂角礫が混入する。		2.45											
4			砂質礫	砂質礫	rd5	}			GL-3.50m付近に厚さ20cmで有機質土を挟む。		3.15	1			1	300						
5	178.06	4.90							砂質礫		砂質礫	灰			φ30mm～50mmの垂角礫を密に混入する。隙間充填物は細砂。玉石をコア長35cmで採取する。φ30mm～50mmの垂角礫を密に混入する。		3.45					
6	178.76	5.20	玉石混じり礫	玉石混じり礫	灰白			砂分は中砂～粗砂が主体。φ2mm～10mmの垂角礫を多く混入する。岩芯まで風化進行し、コアは指圧で容易に砕け砂状となる。		4.15	1	1	1	3	300							
7	178.11	5.85	粘土混じり砂	粘土混じり砂	灰褐			DH級岩盤に区分出来る。			4.45											
8	177.96	6.00	風化花崗岩	風化花崗岩	褐			コア形状を残して採取できるが弱風化し、ハンマー打で礫状に砕ける。コア肌は粗く、水平方向の亀裂が発達する。亀裂面は非常に荒い。DL級岩盤に区分出来る。			5.20	50			50	70						
9	175.96	8.00	風化花崗岩	風化花崗岩	淡灰						5.20	29	21		50	160						
10	174.96	9.00									6.21	60	60		50	160						
11											7.00	31	19		50	130						
12											7.13		30		50	30						
13											8.00	50			50	30						
14											8.03	30			50	0						
											9.00	貫入不能			50	0						